



松本開催 第9回信陽舎舎友会総会・懇親会

【 第9回舎友会総会 】

午前10時、実行委員の中信支部役員8名が会場に集合、記念イベントのマジックショーで使用する機材の会場への運び込みや受付の準備を開始。午前11時頃には参加者が到着し始め、11時30分受付開始、続々と参加者が集まってきた。

定刻の12時、参加者47名全員が揃ったのを確認し、深澤克巳副会長による開会宣言で第9回総会が始まった。林 史典会長が議長となり、議案1. 令和6年度事業報告と議案2. 令和6年度会計報告(報告者:福與事務局長)並びに会計監査報告(報告者:原 誠監事)があり、続いて議案3. 令和7年度事業計画(案)並びに事業予算(案)ご提案され、いずれも異議なく満場一致で承認された。議案4. 役員改選については、事務局より役員会で推挙された役員23名(会長、副会長、監事、幹事)の他顧問12名、事務局員3名、会報編集委員8名が全会一致で承認された。

報告事項の1. 各支部活動報告では、南信支部は五島久揮支部幹事長、中信支部は杉本支部事務局長、東北信支部は役員欠席のため本部事務局の福與が活動報告を行った。2. の寮生活の現況報告並びに3. の法人運営報告は福與卓臣理事長より報告があった。特に法人運営報告では、高齢の理事長と副理事長の後継者養成が喫緊の課題となっているとの報告があった。最後に来年(2026年)は信陽舎創立120周年、武蔵境寮再建70周年という記念の年であるため、第10回総会・懇親会は「記念総会・懇親会」としてアルカディア市ヶ谷にて盛大に執り行うのでより多くの舎友にご参加いただきたい、また、記念冊子の発行を企画しているので、寮生活の思い出やエピソードなどの寄稿をお寄せいただきたいとの報告があった。以上で全ての議題が終了したので12時30分に林議長が閉会を宣した。

議 長



林 史典会長

議案報告



福與卓臣事務局長

総会風景



南信支部報告



五島久揮幹事長

中信支部報告



杉本研一事務局長

《 記念写真 》



敬称略 (後) 大石晃也・坪木崇・吉村信二・寺島裕一郎・滝澤敏章・田村裕昭・宮澤清・岩原伸・岩原優・後田健太郎・保坂直人・森田圭洋

(中) 吉沢敏之・水上治・山越晴彦・原恵一・原 誠・今村行人・遠山正信・深澤徹・浅沼弘愛・草深義雄・五島久揮・林高明・中村與志人・山口章裕・唐沢聖・牧内康行・杉本研一

(前) 尾畑明・原鎌造・小平国俊・片桐勝仁・牧内良平・関島昌信・林史典・楠原雅直・長谷川廣子・古島史雄・北原東亜夫・福與卓臣・深澤克巳・竹村治恭・深澤勝吉・牧野憲治・金田憲治

第9回総会・懇親会開催報告

《 記念イベント・マジックショー 》

総会終了と同時に、記念イベントの”マジックショー”会場に参加者全員が移動して着席、深澤勝吉支部副会長の司会と演者(スマイリーフジ様と助手)紹介で本格的なマジックを鑑賞した。

さすがはプロのマジシャンで様々な道具(紐・棒・ハンカチ・お札・コップに水・筒に酒瓶等)を使って次から次へと不思議な手品を披露する度に驚きと感嘆の拍手が沸いた。最後に助手の女性を板の上に寝かせ催眠にかけたうえで、パイプ椅子の一本のパイプ上に浮かせたマジックには拍手喝采であった。



《 懇親会 》

13時30分、参加者全員の記念写真撮影を行い、13時40分、杉本研一中信支部事務局長の司会により楽しい懇親会がスタート。まずは武蔵境寮以降の76名の物故者のご冥福を祈って1分間の黙祷！ 中村與志人支部幹事長の開会宣言、竹村治恭支部会長の歓迎の挨拶、林史典舎友会会長の会長挨拶、榊原雅直先生の来賓挨拶と続き、兵庫県明石市から参加の関島昌信様(舎友No.64)の音頭による乾杯と続き、懐かしい仲間たちとの楽しい宴が始まった。

司 会



杉本研一

開会宣言



中村與志人支部幹事長

歓迎挨拶



竹村治恭支部会長

会長挨拶



林 史典会長

来賓挨拶



榊原雅直先生

乾杯挨拶



関島昌信先生

乾杯！



上は86歳から下は29歳までの元寮生たちは、同じ釜の飯を食って同じ屋根の下で生活した者同士とあって年齢差など無きに等しく、互いに各テーブルを渡り歩きながら寮生活の思い出に花を咲かせ、瞬間に意気投合、大変な盛り上がりとなった。宴の途中、寮の運営を担っている法人の評議員と役員(理事・監事)の自己紹介、各テーブル毎の参加者の自己紹介などが進むうち、瞬間に時は過ぎて行った。午後15時15分、牧野憲治評議員の音頭で信陽舎寮歌と信濃の国を声高らかに大合唱！ 片桐勝臣評議員の中締めの後、15時30分、山越晴彦支部副事務局長の閉会の挨拶をもって懇親会は閉会となった。

閉会後も別れ難い元寮生たち25名程は、ホテル1階レストラン「ナゴミザ」に席を移して二次会となった。

若い元寮生たちは連れ立って松本の街に繰り出した。二次会後、当日宿泊する老寮生7名は三次会のカラオケ屋、四次会のラーメン屋と武蔵境の飲み屋街を思い出しながら松本の夜の街を徘徊した模様である。

いずれにしろ、大変に楽しく盛り上がった総会・懇親会であった。これも中信支部役員の皆さんの企画・準備のお陰であり心から感謝申し上げたい。

(福興記)



第9回総会・懇親会開催報告



斉唱音頭

信陽舎寮歌・信濃の国斉唱

中締め

閉宴挨拶



牧野憲治評議員



声高らかに「千山万岳そり立ち・・・」を歌い上げる参加者



片桐勝臣評議員



山越晴彦副事務局長

舎友会新役員 任期 3年：自 2025年9月 ～ 至 2028年9月

会 長	林 史典 (67)	幹 事	山口 章裕 (222)	顧問	古島 史雄 (47)
副会長	深澤 克巳 (115)		杉本 研一 (254)		神波 潔 (85)
	福澤 秀志 (266)		田村 裕昭 (264)		牧内 良平 (91)
	青柳 淳英 (280)		仁科 圭右 (306)		上松三治彦 (108)
	池野 兼浩 (298)		吉村 信二 (309)		片桐 勝臣 (110)
監 事	坪木 崇 (408)		小林 隆 (354)		福田 璋夫 (116)
	後田健太郎 (593)		田中 淳一 (470)		深澤 勝吉 (135)
幹 事	福與 卓臣 (117)		岩原 優 (580)		竹村 治恭 (140)
	井上 潔 (173)		山崎 達也 (584)		伊原江太郎 (147)
	五島 久揮 (176)		松尾 龍 (614)		鈴木 昭夫 (154)
	田尻 実 (207)		宮崎 健太 (615)		伊藤 寿彦 (162)
	原 誠 (220)				浅沼 弘愛 (172)

担当職務		
事務局	局 長	福與 卓臣 (117)
	副局長	坪木 崇 (408)
		岩原 優 (580)
会報「武蔵野」 編集委員		福田 璋夫 (116)
		福與 卓臣 (117)
		原 誠 (220)
		福澤 秀志 (266)
		仁科 圭右 (306)
		坪木 崇 (408)
		田中 淳一 (470)
		岩原 優 (580)

舎友会ゴルフ親睦会リベンジ開催

令和7年10月2日(木) 於：清川カントリークラブ(神奈川県清川村)

信陽舎舎友会のゴルフ愛好者による親睦ゴルフ会は年々参加者が減少してきた。毎年2回(春と秋)清川CCで開催していたが、当日になると不思議と大雨で中止となり、“今日もまた清川村は雨だった！”と悲しげに謳ったのは、雨男と揶揄されて親睦ゴルフ会を去っていった浅沼某氏だが、彼が去った後の今年春開催予定だった4月4日が再び大雨で中止、リベンジで予約した6月3日もこれまた雨で再度中止、再リベンジとなった10月2日は三度目の正直でやっと秋晴れの快晴。

舎友の参加者は、牧内良平さん(91)、深澤克巳さん(115)、初参加の若い山崎達也さん(584)と福與卓臣(117)の4名。長野高校15回生の2名を加えて6名のコンペとなった。

この親睦ゴルフ会は、信陽舎OBの参加者が減ってきただけでなく、福與の高校の同期会(長高15回生)のコンペも年々参加者が減ってきていたため、5年前から両コンペをまとめて合同で開催することになった。

成績は、他の参加者たちより50歳も若い山崎君がハンディキャップ(ダブルペリア)を利用し見事に優勝！

コンペ終了後は、必ず訪れる本厚木駅前の中国料理『慶福楼』本厚木店特設の19番ホールへ。牧内良平先輩が昔から懇意にしているため、その日のお奨め特別料理を必ずサービスで出してくれる。この店の絶品料理は何と言っても“牡蠣の鉄板焼き”だが、残念ながら今年はまだ良い牡蠣が入っていないため諦めて、まず“ホタテの鉄板焼き”に生ビールを注文。山崎君の優勝を祝って乾杯！山崎君は19番ホールは初めてだが、この“ホタテの鉄板焼き”を口にするとやいなや「ウッメ～」と感嘆の叫びを發した。

出てくる料理はどれも抜群に美味く、ビールや焼酎もお代わりが進み19番ホールは全員がバーディーで締めくくり、皆さんご機嫌で帰路についた次第。

(福與記)



スタート前は皆さんにつっこに！



山崎達也・深澤克巳・福與卓臣・牧内良平

新年の挨拶(年賀状・電子メール・Line等)等による便り

(注:謹賀新年、賀正等の冒頭の新年挨拶文句は省略させていただきました)

- 榊原 雅直 (S3特別会員) : 今年の記念すべき総会(創立120周年記念総会)を楽しみにしております。今年もよろしくお願いいたします。
- 長谷川廣子 (M2名誉会員) : 笑顔うまれる一年になりますように。今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。
- 平澤 正通 (11、1956年) : 昨年の手紙類を整理していたところ、9月のOB会(舎友会)の案内への返事並びに会費の納入をしていなかった事が判りました。丁度案内状を頂いたころ、ひどい腰痛で日常生活に支障するような状態だったので、つい失念してしまったようです。遅くなって申し訳ありませんでしたが、本日会費を送金しましたので宜しくお願い申し上げます。舎友会と信陽舎の発展をお祈りします。
- 宮川 章義 (14、1956年) : 早々の賀状ありがとうございます。信陽舎をよろしくお願いいたします。
- 古島 史雄 (47、1959年) : 当方、年が明け平均余命は僅か6年余りとのこと、残された人生を是非とも健康に過ごして行きたいと願うばかりです。
- 北原東亜夫 (55、1960年) : 昨年の9月の寄り合い(舎友会総会)は福与さんの強いお言葉に乗って出席させてもらい大変に楽しい一晩を過ごさせてもらいました。今年は9月に節目の総会とか、役立たず・迷惑者が行くべきか悩むところですが、宜しくお願いします。
- 久保田光昭 (58、1960年) : 小生、何とかやっています。楽しいこといっぱい的一年になりますように。
- 林 史典 (67、1960年) : 本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。長善館との交流は大変良いアイデアで、楽しみです。現在のような困難な状況下では、寮同士の連携・交流が状況打開の糸口、その一つになるのではないかと期待されます。
- 神波 潔 (85、1961年) : 信陽舎120周年誠にめでとうございます。私は年末に急性盲腸炎に罹り入院、いま一時帰宅しているところです。とんだ年末年始になりました。信陽舎にとりまして発展の年となりますようお祈りいたします。
- 中田 篤 (96、1962年) : 皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。今年もよろしくお願い申し上げます。
- 中田 茂 (102、1962年) : 誠に勝手ながら本年をもちまして年賀状でのご挨拶を終了させていただきます。今後とも変わらぬお付き合いの程お願いいたします。
- 池神 利勝 (109、1963年) : お陰さまで昨年、平均寿命(男)を越えられ、「健腸長寿」(ヤクルト飲んで)を目指します。
- 五嶋 昭 (112、1963年) : ご無沙汰しております。三年前に病になって、昨年末頃より元気になりました。今年もよろしくお願い致します。
- 小平 国俊 (113、1963年) : 生まれ変わった気持ちでまた一步。本年も元気に過ごしましょう。
- 深澤 克巳 (115、1963年) : 新しい年が素晴らしい一年でありますようお祈り申し上げます。
- 福田 璋夫 (116、1963年) : 望郷でしょうか、故郷(版画:伊那谷の朝・赤石山脈遠望)を彫ることが多くなりました。
- 土屋 雅敬 (129、1964年) : 頭も身体も年齢相応に傷んでおりますが元気です。お身体くれぐれもご自愛ください。
- 深澤 勝吉 (135、1965年) : 素晴らしい年賀状をありがとうございました。2月7日(中信支部新年会)にお会いできるのを楽しみにしています。
- 竹村 治恭 (140、1965年) : 昨年の松本(総会)では大変お世話になりました。本年もよろしくお願い申し上げます。
- 原 鍊造 (144、1965年) : いよいよ八十歳になりました。私事では細かい失敗が多くなり、心身ともに衰えを感じています。
- 生嶋 正和 (146、1965年) : 新しい年が皆様にとって良い年でありますよう心よりお祈り申し上げます。
- 伊原江太郎 (147、1966年) : (105歳になる母の)介護をなんとかこなしております。
- 尾畑 明 (150、1966年) : 年と共に1年の早さを感じます。先の見えた人生を「自由に生きる」をモットーに生活しています。
- 葛岡 龍夫 (151、1966年) : 新しい年がおだやかな一年となりますよう心からお祈りいたします。
- 鈴木 昭夫 (154、1966年) : 謙虚に暮らしていければと思っています。手書きはリハビリ(のため)です。
- 仲田 哲夫 (155、1966年) : 今年一年お互いに平穏無事でありますように! 本年もよろしくお願い致します。
- 牧野 憲治 (157、1966年) : 「信陽舎」からの便りが、人生の楽しみとなっております。ご健康に留意され益々のご活躍を祈念申し上げます。
- 松山 順治 (158、1966年) : いつも会報をありがとうございます。昨年西日本で一番高い四国の石鎚山へ登り、次いで北アルプスの蝶ヶ岳から常念岳まで縦走しました。これで山終いにしようと思いきや、今年の登山計画が進行中で欲張りな自分に呆れています。
- 金田 憲治 (164、1967年) : 箱根駅伝にきぎ付けで新年の挨拶が遅れました。田舎の疲弊に光をと初日の出に祈りました。
- 櫻井 康夫 (166、1967年) : 信陽舎120年おめでとうございす! 還暦三週目になりますね。素晴らしい!!
- 浅沼 弘愛 (172、1968年) : 今年は信陽舎の節目の年となりますね。10年前の信陽舎創立110周年、武蔵境寮再建60周年に立ち会わせて頂きましたが、今年も今から楽しみにしておるところです。個人的には大分老兵になり消え去るのみかと言いついて聞かせておる次第です。
- 五島 久揮 (176、1968年) : 謹んで新年のお慶びを申し上げます。
- 深津 徹 (184、1968年) : 新年明けましておめでとうございす。本年もよろしくお願い致します。
- 中村 克己 (190、1969年) : 早々の賀状(ネット賀状)有難うございました。年末の入院で金属製ステントを留置して、胆管狭窄への治療を進めており、この治療に期待しています。完治して、又皆さんにお会いできるのを楽しみにしております。
- 田尻 実 (207、1970年) : 旧年中は大変お世話になりました。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。
- 寺島裕一郎 (217、1971年) : 今年も舎友会を楽しみにしております。
- 原 誠 (220、1971年) : 早いもので東京都自動車会議所勤務は四月で満十年となります。川越の自宅から新中野の事務所までドアツードアで二時間かかりますが、帰りは駅からバスに乗らずに自宅までさらに三十分歩いています。ライター稼業のほうも旧年中に新しい媒体が一つ加わり、おかげさまで仕事が絶えません。どこまで二足のわらじを続けられるか、まだまだゴールは見えません。
- 山口 章裕 (222、1971年) : 今年は創立120年の記念すべき年です。この素晴らしい年に、皆さんと一緒に飲んで、歌って、語り合ってを楽しみにしています。



(注：謹賀新年、賀正等の冒頭の新年挨拶文句は省略させていただきました)

5

新年の挨拶(年賀状・電子メール・Line等)等による便り

(注:謹賀新年、賀正等の冒頭の新年挨拶文句は省略させていただきました)

- 平出 拓也(657、2022年)： 私ごとですが、大学院での学びと並行して、4月からドルトン東京、中央大学附属にて非常勤をすることとなりました。慌ただしい新生活が始まりますが、寮にも顔を出せたらと思っています。 本年もよろしくお願いいたします。
- 穂川 輝多(659、2022年)： 現在は新天地でひたすら奮闘しております。 分野を変え、環境を変え、さらに経験を積んでいこうと思っています。
- 永原 拓実(665、2022年)： 寒い日が続きますのでお身体ご自愛くださいませ。 本年もよろしくお願いいたします。
- 鈴木 智晴(673、2023年)： 本年は大学最後の1年となります。 就職に向け準備をしつつ頑張ってます。 本年もよろしくお願いいたします。
- 中嶋 昂(684、2025年)： 年賀状(ネット賀状)と総会のお知らせをありがとうございます。 信陽舎の皆さんはお元気でしょうか？

寮生及び保護者からの便り(新年の挨拶)

- 佐藤 勉・大地(661、2022年)： 福與様、長谷川様をはじめ信陽舎の皆様には大変お世話になりました。 無事に卒業・就職できますように最後まで頑張りたいと思います。
- 小山 聖子・ういる(662、2022年)： 旧年中は息子・ういるの舞台を観に来ていただき有難うございました。 信陽舎でお世話になりながら、もう少し夢を追わせていただきたいと思います。 ご迷惑をお掛けいたしますが、本年もよろしくお願いいたします。 寒くなりますがご自愛ください。
- 田畑 篤・澄子(669、2023 尚大君の保護者)： 尚大が3年間お世話になりました。 足の靭帯損傷して松葉杖の時は寮の皆さんに本当に助けていただきました。 これからも信陽舎からたくさんの方が巣立ってほしいです。
- 高橋 修一(672、2023年 諒多君の保護者)： 諒多が寮生活で大変お世話になっており、心より感謝申し上げます。 遠方に暮らす親として、理事長様の手厚いご指導を賜り大変ありがたく感じております。 燕岳から望む槍ヶ岳の暁光のように皆様にとって輝かしい一年となりますようお祈り申し上げます。 本年も何卒よろしくお願いいたします。 (諒多君より) 今年も寮友と協力し合い寮生活を頑張ります。
- 清水 陽太(677、2023年)： 今年信陽舎にとって創立120周年という大きな節目の年になるのですね。 9月5日の記念総会につきましても日程を承知いたしました。 おかげさまで、何時も安心して寮生活を過ごすことができております。 私にとって、今年は寮生として過ごす最後の年となり、いよいよ4年生を迎えます。 後輩たちの手本となれるよう、これまで以上に自覚を持って寮生活に励みたいと思います。 本年もご指導のほど宜しくお願いいたします。
- 宮坂 栄二(683、2024年 佳樹君の保護者)： 旧年中は佳樹が大変お世話になりました。 こうして寮生が勉学に専念できるのは、ひとえに生活の拠点となっている信陽舎があつてのことです。 私見ですが、貴寮は寮生にとって「第二の学び舎」であると捉えております。 社会に巣立つ前に、ここで心構えや利他の心を醸成できる環境に身を置くことができる幸せを感じております。 皆様のご多幸を祈念するとともに、本年もご指導のほどよろしくお願い申し上げます。
- 井出 正志・由夏(687、2025年 弥来君の保護者)： いつも弥来がお世話になっています。 お陰さまで楽しく寮生活を送らせていただいています。 本年もご指導のほどよろしくお願い致します。
- 百瀬 雄一・晃弘(689、2025年 晃弘君と保護者)： いつもありがとうございます。 今年もよろしくお願いいたします(晃弘)。 晃弘がお世話になっております。 寮生活が楽しいようです。 本年もよろしくお願い致します(母)。
- 石原洋一郎・智子(691、2025年 東洋君の保護者)： 大変お世話になっております。 まだまだ幼い所もあり、ご迷惑をお掛けしているとは思いますが、なにとぞよろしくお願いいたします。
- 中村 守利(693、2025年 太智君の保護者)： いつも太智がお世話になっております。 今年もよろしくお願いいたします。
- 岡島 建一・寛弥(694、2025年 寛弥君と保護者)： 息子・寛弥がお世話になります。 本年も変わらずご指導をお願いいたします。

喪中のご挨拶

喪中につき年末年始の御挨拶を失礼させていただきます

- 嶋岡 洋平(78、1960年)： 亡き兄 嶋岡一蔵が8月31日に90歳で永眠いたしました。
- 北原 靖久(81、1961年)： 姉 高坂知穂子が9月3日に88歳で永眠いたしました。
- 牧内 良平(91、1961年)： 美栄(奥様)の兄 金井宏憲が9月23日に永眠いたしました。
昨年亡くなった妻・厚子を追うような旅立ちでした。
- 坂 好章(99、1962年)： 妻 朝子が3月に80歳で永眠いたしました。
- 岩原 晃(214、1971年)： 今年1月 母 和子が91歳で永眠いたしました。
- 高野 雅彦(302、1981年)： 父 高野雅之が8月7日に95歳で永眠いたしました。
- 仁科 圭右(306、1982年)： 母 橋本悦子が2月10日に92歳で永眠いたしました。



転居通知

- 松澤 直紀(596、2013年)： 先日(2025年10月)引っ越しをさせていただきましたため、郵便物等は今後下記住所に送付いただけますと幸いです。 東京都中央区晴海5丁目(晴海フラッグ)。
- 神藤 駿介(606、2015年)： 飯田市上郷黒田に転居しました。
- 折山 達野(634、2018年)： 新しく東京都目黒区に引っ越ししました。
- 風間 大輝(644、2019年)： この度東京都練馬区に引っ越ししましたので宜しくお願いいたします。

令和7年度秋のスポーツ大会

令和7年10月4日(土) 午後2時00分～午後3時30分 会場：大栄ボール(小金井市)

寮生21名と理事(福與)1名の計22名が武蔵小金井にある「大栄ボール」に集合。14時から6レーンに分かれて2ゲームずつの熱戦を繰り広げた。ストライクやスペア、ガーターが出るたびに、みんなやんやの大喝采！ 普段の寮生活では見られない嬉々とした表情にはそれぞれの性格や本音が現れ、互いに新しい発見があり親近感を覚えたようだ。今年の寮生たちのレベルは高く、昨年の大会では200点超えが居なかったのに、今年は200点超えが続出。全レーンのプレーが終了した後全員で記念写真を撮影し、留守中に打上げ夕食会の準備をいただいている長谷川さんの手伝いの為、皆それぞれに急いで寮に戻った。

16時半、長谷川さんが用意してくれた豪華料理で打上げ夕食会となった。スポーツで汗を流し互いの絆を深めた後のビールやご馳走はまた格別である。大会の結果、優勝はモルック(フィンランド発祥のスポーツ)で鍛え、268点の高スコアを出した黒河内祐輝君。入賞者7名には賞品が渡されたが、全員が200点超えと素晴らしい成績だった。賞品は籤引きのため、何が貰えるかは、開けて見なければ分らず興味津々、「開けてビックリ玉手箱」さながらで一喜一憂、会場の笑いを誘った。楽しく賑やかな夕食会の後、誰が言い出したのか(多分、長谷川さん?)カラオケ大会となり、武蔵境駅前のカラオケ屋に同行。長谷川さん十八番の「天城越え」や寮生達の歌を聞いていたら時間は22時、名残惜しいが別れを告げて帰路に着いた。(福與記)



2025年度 ウェルフェア・フェスティバル in 桜堤 に協力参加

2025年11月1日(土) 10時00分～14時30分 春秋館他4福祉施設

この「ウェルフェア・フェスティバル in 桜堤」は、それまで桜堤ケアハウスが単独で行っていた「介護と福祉の地域祭」を武蔵野市の支援の得て発展させ、近隣の4つの福祉施設(隣の介護老人保健施設「サンセル武蔵野」、グループホーム「Life Design つむぎ」、訪問介護「みゅうちゅある」、特別養護老人ホーム「さくらえん」と4年前から合同で開催するようになり年々訪れる近隣住民も増えて賑やかになってきた。

朝8時20分から、桜野小学校吹奏楽班の演奏会場の設営、信州リンゴの販売屋台、信州観光パンフレット展示台の準備等、10時30分から寮生たちが「マツケンサンバ」の踊りを披露、11時より信州リンゴの販売、スタンプラリー、仮設トイレの設営、隣の施設「サンセル武蔵野」での高齢者疑似体験受付など、14時からの後片付け等々と寮生たちは全員が各自の時間が許す範囲で参加協力した。今回は特別に新入寮生たちが「マツケンサンバ」の踊りを披露して来場者たちから大喝采を得たようだ。また、恒例となっていた池野常務理事の手配による信州リンゴと新鮮野菜販売は、今年の天候不良により新鮮野菜の手配が難しいため、リンゴ販売(数量を増やして)のみとしたが、とても好評で1時間足らずで完売になったとのこと。最後に、術後のリハビリ中の身でありながら無理を押して飯田から上京し、寮生と一緒にリンゴ販売を手伝ってくれた池野理事に感謝したい。(運営記録より、福與は所要のため参加できず、写真提供は寮生と長谷川寮母さん)



令和7年度 寮祭

令和7年11月22日(土) 午後6時00分～午後8時30分 2階 食堂

参加者は、理事・監事6名(深澤副理事長、池野常務理事、岩原常務理事、山崎理事、後田監事、福與理事長)、舎友2名(長谷川寮母、平出拓也)、招待者2名(ケアハウス小松指導員、後田監事夫人)、寮生21名の総勢31名。

寮生たちは午前中から伝統の五平餅の餅やゴマ味噌タレ作りを開始、午後からは長谷川さんの料理作りの手伝い、食材の買い出し、五平餅を焼くための炭おこし、会場の配膳など手分けして準備を進めていた。

夕方の午後5時頃から理事や先輩たちが土産のお酒等を持参して集まってきた。開宴の午後6時に出席者31名が食堂に集合した様子は、広い食堂も狭く感じるほどの賑わいとなった。特に今回は監事の後田健太郎さんが奥様同伴にて出席されたため一段の華やいだ雰囲気となった。



令和7年度 寮祭(続)

理事長・福與の挨拶、ケアハウス小松指導員のご祝辞、深澤克巳副理事長の乾杯挨拶と続いて楽しい寮祭がスタート。長谷川さん手作りの豪華料理は各テーブルに乗り切れないほどで、その美味しさはどれも絶品で乾杯の後しばらくの間、出席者全員の箸が止まらず黙々と料理に舌鼓を打っていた。また、五平餅は近年になく美味しく焼きあがっていて、どのテーブルもあつという間に食べつくされていた。皆さんの胃袋が満たされた頃に恒例の寮生たちによる余興がスタート。トップバッターは2年生による歌とダンスがあり、次に歓迎会やウェルフェア・フェスティバルでのマツケンサンバに味を占めた1年生による踊り、続く4年生たちは佐藤大地君の歌に合わせて缶ビールを飲み干すパフォーマンス？を披露、最後は3年生による、“優秀回答者には1カ月風呂当番免除”というクイズ大会となった。

寮生達の余興のあと、高橋諒多君の司会による本日のメインイベント“新婚さん いらっしゃい！”が始まった。新婚の奥様を同伴した後田健太郎監事ご夫婦へのインタビューである。後田監事と奥様に交互に答えて頂くとして「初めて出会った時の相手の印象は？」「相手の何処に惚れたのですか？」「その時の気持ちは今も変わっていませんか？」等々・・・キツイ質問には後田監事などは照れて顔を真っ赤に（お酒焼け？）しながら答えていたが、相思相愛のお似合いのカップルで、寮生たちは指をくわえて「いいな、うらやまし〜！」との声が挙がっていた。

盛り上がった宴もあつという間に午後8時、自宅が遠い深澤副理事長と手術後でリハビリ中の池野常務理事は先に帰られ、福與も翌朝に入寮面接もあるため午後9時に失礼して帰宅の途に就いた。

若い後田健太郎監事ご夫婦や岩原優常務理事、山崎達也理事などは二次会にも参加し午後11時頃まで寮生や長谷川さんと楽しいひと時を過ごしたようだ。



(運営記録より)

令和8年2月21日 卒寮生送別会アルバム

卒寮生3名：佐藤大地君・田畑尚大君・柳本和波君



後輩寮生から贈られた
ユーモア溢れる卒寮証書



後輩寮生からの卒寮記念
ネクタイに「似合うかな！」



ケアハウスの皆さんから手作りの
お祝いの品々に思わずにっこり



卒寮生からの置土産・オープンレンジ



卒寮生のお別れ答辞



お別れ記念写真

☎ お便り大歓迎！ ☎

常時、舎友の皆さんの便りを募集しております。随時受付を行っていますので遠慮なく下記事務局までどしどしお便りをお寄せ下さい。

《 会報「武蔵野」編集委員 》

福田 璋夫(116)	福與 卓臣(117)
原 誠(220)	福澤 秀志(266)
仁科 圭右(306)	坪木 崇(408)
田中 淳一(470)	岩原 優(580)

☎ 舎友名簿に関するお願い ☎

舎友会では、個人情報保護の観点から「舎友名簿」の発行は行っていない。同期会又は各地区舎友会等を企画される折に、該当する舎友の連絡先を必要とされる場合は、お手数ですが下記事務局までお問合せ下さい。

文中挿入の挿絵(版画・スケッチ)等の作画は福與卓臣

発行人： 林 史典（会 長）
事務局： 福與卓臣（事務局長）
〒225-0026 横浜市青葉区もみの木台 34-8
☎ (045) 902-2575 携帯☎ 090-9841-6349
E-mail : tof2943@citrus.ocn.ne.jp

会報「武蔵野」第18号 令和8年4月1日発行